

2年生の算数では、こんな力をつけよう！ 伸ばそう！

教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身につけるようにする。
- (2)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う
- (3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

学年の目標 ～つきたい力～

- (1) 数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の内容、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けていきます。
- (2) 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力を養います。
- (3) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養います。

授業内容

【1学期】

・表とグラフ ・時こくと時間 ・たし算 ・ひき算 ・長さ ・100より大きい数 ・たし算とひき算

【2学期】

・水のかさ ・三角形と四角形 ・かけ算 ・かけ算九九づくり ・長いものの長さ

【3学期】

・九九の表 ・はこの形 ・1000より大きい数 ・図をつかって考えよう ・1を分けて

評価の観点 ～伸ばしたい力～

知識・技能

- ・数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の内容、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにしている。
- ・加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。
(テストやノート等の記述など)

思考・判断・表現

数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力を身に付けている。
(テストやノート等の記述、活動の様子など)

主体的に学習に取り組む態度

数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
(テストやノート等の記述、話し合いや発表など)

2年生の国語では、こんな力をつけよう！ 伸ばそう！

教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学年の目標 ～つきたい力～

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにします。
- (2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにします。
- (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養います。

授業内容

【1学期】

- ・おはなしを読み、やくにわかれて音読しよう ・じゅんじょに気をつけて読もう
- ・お話を 読んで、しょうかいしよう

【2学期】

- ・読んで考えたことを話そう ・そうぞうしたことを、音読げきであらわそう
- ・せつめいのしかたに 気をつけて読み、それをいかして書こう
- ・自分とくらべて、かんそうを書こう

【3学期】

- ・だいじなことばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう ・読んで、かんじたことをつたえ合おう

評価の観点 ～伸ばしたい力～

知識・技能

日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。(活動の様子や言動、テストやノート、作文等の記述など)

思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。(活動の様子や言動、テストやノート、作文等の記述など)

主体的に学習に取り組む態度

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、楽しんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。(活動の様子や言動、発表や記述など)

※都合により授業内容を変更することがあります。